

学習したことを生かして

「モチモチの木」

齋藤

隆介

めあて

じさまは、豆太のことをどう思っているのかを読み取る

「弱虫でも、やさしけりゃ」



- ・何でもできるんだ。
- ・勇気が出てくるんだ。
- ・やらなきゃならねえことは、きつとやるんだ。
- ・強くなれるんだ。

【じさまの思】

「は、は、は。」

教科書73ページの挿絵

むかし話の言葉

しょんべんにじさまを起こしたとき。

8 / 16 時間目 指導略案  
活動のねらい

使用するワークシート…

じさまの言葉を手掛かりに、やさしさと勇気について、じさまが豆太に伝えたかったことを想像させる。

1 灯がともったモチモチの木の様子を振り返る。

2 「弱虫でも、やさしけりゃ」を音読する。

3 じさまが豆太をどう思っているのか考える。

【発問】じさまは豆太のことをどう思っているのでしょうか。

会話文の中の叙述を基に自分の考えをもたせる。

「は、は、は。」と笑ったじさまの様子に着目させ、豆太の成長を喜ぶじさまの気持ちを想像する。

じさまの言葉から豆太に伝えたかったことを想像させ、「弱虫でも、やさしけりゃ」の後の言葉を考える。

全体で交流する。

物語全体を通して、豆太の行動を振り返らせるとともに、昔話の語り口についてもおさえる。

4 学習のまとめをする。

本時のまとめとして、心に残ったことや思ったことを付せん書き、ワークシートに貼る。

評価 じさまの言葉や豆太の行動から、豆太に対するじさまの気持ちを想像することができる。